

小学生の部

最優秀賞

神奈川県知事賞

いろいろな人がいるんだよ

平塚市立みずほ小学校

六年 井山 瑠璃

私は、一年半前に病気で両足のひざ上から下を失ってしまいました。現在は、義足で生活しています。学校でも使っています。今まではあたりまえに歩いて、友達といっぱい外で遊んでいたりに、義足になってからも遊ぶ事は出来るけれど、外で走り回る事が、出来なくなっていました。

それだけではなく、つらい事も増えました。

一番は、周りの人からたくさん見られてしまう事、もう一つは、自分の思うように行動出来なくなってしまう事でした。

もちろんつらい事ばかりではなく、うれしいこともありました。

一つ目は、たくさんリハビリをして、ふだんの生活で出来る事が増えた事です。それは階段や坂道などです。これは技術的にもとても難しく大変だったけれど、出来た時は涙が出るくらいうれしかったです。

二つ目は、足を失っても出来ない事ばかりではなく、出来る事が多いのだと気付けました。私は、義足を知るまでは二度と歩けない、走れないと思っていました。でも、リハビリの先生や、周りの人たちのおかげで健常者の人達みたいに歩けたり、走るために使うスポーツ用義足をはいてジャンプしながら進んでみたりと今まで想像も出来なくて、あきらめていた事が現実になり、少しずつ前向きになりました。

自分が義足になって、私と同じ人たちの大変さや気持ちがとてもよくわかりました。もし、町中で義足の人を見かけたらするどい目でじーっと見つめるのではなく「あつ、あの人は義足なんだな」と、温かい目で見てください。

困まっていそうだったら声をかけてあげてください。応援しているよ、という気持ちで接してほしいと思います。